



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 〇秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ 新年に寄せて

毎年恒例の「みんなで走ろう!元日マラソン」や各地域の「新年祝賀会」が中止になり、家族の帰省も自粛して、今年はいまだにない年の初めとなりました。コロナ禍で、当たり前前に過ごしてきた日常の大切さに、改めて気づかされました。一日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、皆さまにとって幸多き一年になることを願っています。

昨年、感染拡大に伴う外出自粛で、再認識したことがあります。学校が一斉休校になり、国民が家庭で自粛生活を余儀なくされている間も、産業や生活基盤に携わっている人たちは、家を出ないわけにはいきませんでした。ステイホームのさなかにも、医療の最前線で働く人や、ごみの収集を行い、訪問看護に出かけ、ゴミバスを動かす人々がいました。緊急事態宣言下でも宅配便は滞りなく配達され、マスク不足で行列ができたドラッグストアでは、お客様からいわ

れのない暴言を浴びても笑顔で業務を全うする従業員の姿がありました。電気・ガス・水道、警察官も消防官も自衛官も、みんな頑張っている。このコロナ禍で教え



ごみの収集を行う作業員

られたことの一つは、私たちの生活はこんなにもたくさんの縁の下の力持ちに支えられて成り立っているということ。生活基盤を支える行政の仕事は、その根幹を成すものです。地道に一つ一つ、市民の暮らしが、より安全・安心に、より便利に、より快適になるように、今年も職員一丸となって「市民ファースト」のまちづくりに励んでまいります。

さて、昨年11月にオープンした新東名島田金谷ICに隣接する「KADODE OOIGAWA」は、大井川鐵道の新駅「門出駅」、観光案内所兼物産販売所「おおいなび」とともに多くの賑わいを生み出し、オープンから1ヶ月で約10万人のご来場をいただきました。島田市だけではなく、大井川流域にとってランドマークとなる施設です。多くの皆様のお越しをお待ちしています。

さらに、隣接する堤間・牛尾山地区の企業立地に向けた準備を進め、この地域が稼ぐ拠点となるよう、産業の活性化につなげてまいります。

また、皆さまの安全安心の砦となる「島田市立総合医療

センター」が、いよいよ今年の5月2日に開院いたします。感染症の専門病床を備えた、地域の中核的医療機関として期待されています。今後も更なる医師の確保に努め、市民の命と健康を守ってまいります。



5月の開院を控える「島田市立総合医療センター」

次に、リニア中央新幹線工事に伴う大井川の流量減少問題についてもお話ししなければなりません。私が繰り返し申し上げてきたことは「今ある水を今後も守りたい」という、ただ一点に尽きます。流域住民の「生活」だけでなく「産業」を支える、まさに「命の水」です。引き続き、県・流域市町・利水者と一体となって、取り組んでまいります。

一方コロナ禍において、ICT情報通信技術を活用したテレワークやオンライン会議など、デジタル化の流れが一気に加速する中、当市は国に先んじていち早く「デジタル変革宣言」を行いました。本年も、皆さまがデジタルの恩恵により、便利で豊かな生活



が送れるよう、さまざまな取り組みを進めてまいります。スマートフォンの初心者や不慣れな人向けには、デジタル活用支援員が地域にお伺いして、使い方や市公式LINEの登録方法など、操作を丁寧に説明することで、デジタル社会に取り残されないようサポートしてまいります。

本年も、前例にとらわれない柔軟な発想と新たな手法をもって、島田市の未来のために果敢に挑戦してまいります。共により良い島田市を創ってまいります。